

家庭科概論

科目ナンバリング ESS-210
選択 2単位

勝田 映子

1. 授業の概要(ねらい)

小学校における家庭科教育の意義を踏まえた上で、教科の目標、学習内容と方法について実習やグループ活動、ペアワークなどを通して理解を深める。また、小学校家庭科の授業を行う上で必要な基礎的・基本的事項を修得する。

2. 授業の到達目標

- ①小学校家庭科の目標・内容及び教育的意義について他者に説明することができる。
- ②小学校家庭科を指導する上で必要な基礎的・基本的知識及び技能を修得する。
- ③自分が興味を持った現代の生活上の課題について調べ、レポートにまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

毎時間ごとの授業ポートフォリオ40%、レポート、演習課題(縫製実習等)の達成度30%、試験30%により総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

渡邊彩子編 小学校家庭科教科書『新しい家庭 5,6』東京書籍

文部科学省『小学校学習指導要領解説 家庭編』東洋館出版

参考文献

流田直監修『できますか?教えられますか?家庭科の基本』学研教育みらい

5. 準備学修の内容

- ・生活に関する情報に関心を持ち、テーマを決めて資料等を使って調べ、「生活レポート」を作成すること
- ・指定された教科書の次の授業範囲を読み、専門用語や概要について調べ、ノートにまとめておくこと

6. その他履修上の注意事項

- ・家庭や社会に関心を持ち、さまざまな角度から幅広く考えたり、学修内容を深く理解したりすることを期待します。
- ・提出物は期限を厳守して提出すること

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | 授業ガイダンス(目標、内容、進め方など) 家庭科の学習経験を振り返る |
| 【第2回】 | 家庭科の学びとは何か?—歴史と展望 家庭科で育てる資質・能力 学習方法について学ぶ |
| 【第3回】 | 学習指導要領の内容について学ぶ |
| 【第4回】 | 児童の生活実態を理解し、「家族・家庭生活」の指導内容について学ぶ |
| 【第5回】 | 日常の食事と調理の基礎1—栄養と栄養素の科学について学ぶ。また、一食分の献立作成を演習する。 |
| 【第6回】 | 日常の食事と調理の基礎2—ゆでる・いためる調理の科学と調理の要点について学ぶ |
| 【第7回】 | 日常の食事と調理の基礎3—米飯と味噌汁の科学と調理の要点について学ぶ |
| 【第8回】 | 家庭生活と社会—家計収入と労働問題、家庭福祉と社会福祉との関係について学ぶ |
| 【第9回】 | 情報社会と消費生活—家庭と情報社会との関わり、消費生活の実態と課題について学ぶ |
| 【第10回】 | 快適な住まい方—住生活に関する基礎的事項について学ぶ |
| 【第11回】 | 衣服の役割と手入れに関する基礎的事項について学ぶ |
| 【第12回】 | 手縫いの基礎—手縫いに関する基礎的事項の修得ならびに技能実習 |
| 【第13回】 | 手縫い・ミシン縫いの基礎—手縫いとミシン縫いに関する基礎的事項の修得 |
| 【第14回】 | 生活と環境—これからの家族と家庭生活—家庭生活と環境問題、防災等との関わりについて学ぶ |
| 【第15回】 | テストと学修のまとめ(これからの家庭科教育の在り方についてグループ・ディスカッションを行う) |